

令和2年

目黒区教育委員会

第1回定例会会議録

(令和2年1月7日開催)

第1回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年1月7日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	櫻井道雄
	教育委員会委員	後藤幸子
	教育委員会委員	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子

出席職員	教育次長	秋丸俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井司
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	濱下正樹
	学校施設計画課長	鹿戸健太
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	酒井宏
	統括指導主事	寺尾千英
	統括指導主事	片山順也
	生涯学習課長	千葉富美子
	八雲中央図書館長	増田武

書記		小野塚幸隆
		森高健二郎

(議事日程)

日程第1	報告事項	教育情報セキュリティ対策基準（素案）について
日程第2	報告事項	区立学校におけるいじめの発生について
日程第3	報告事項	令和2年度小学校自然宿泊体験教室について
日程第4	報告事項	令和元年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議 の実施結果について
日程第5	報告事項	令和元年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第6	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果に ついて

(午前9時30分開会)

○教育長 令和2年第1回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、後藤委員です。

本日、日程第1から第6までありますが、日程第1は区政執行に関する案件であり、日程第2は個人情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第11条第1項ただし書きの規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議します。それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。

非公開とすることに賛成の委員の挙手を願います。

(各委員挙手)

○教育長 それでは、日程第1及び日程第2については、非公開により審議することといたします。

(午前9時31分、非公開会議入る。)

(午前10時1分、非公開会議終わる。)

○教育長 ここから会議を公開といたします。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 令和2年度小学校自然宿泊体験教室について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 令和2年度に、小学6年生の自然宿泊体験教室の泊数を1泊短縮して2泊3日とすることについては、今年がオリンピック・パラリンピックイヤーであることから、やむを得ないと納得できますが、このことは、校長も合意の上で決めているのでしょうか。また、保護者への説明はこれからだと思っておりますが、そのあたりを詳しく教えていただけますか。

○説明員 まず、日程調整をする段階で、校長会でこの話を伝えておりま

す。また、今週末、合同校（園）長会を開催しますので、そこで、この内容につきまして改めて説明をしたいと考えてございます。また、保護者への説明についてですが、例年2月ごろに次年度の保護者説明会を学校で開催しておりますので、その中で、学校から保護者への周知を図る予定でございます。

- 教育長            その他ご質問等ございますか。  
                      特にないようですのでこの報告を受けました。  
                      次に日程第4を議題とします。

（日程第4        令和元年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果について（報告事項））

- 説明員            （資料により説明）  
○教育長            この件についてご質問等はございませんか。  
○委員             毎年度工夫を重ねていただき、この会議がよくなっていると思います。ありがとうございます。

3点お伺いしたいことがあります。まず、第十一中学校区においては、地域の方の参加者が2名と少ないのですが、この原因は何でしょうか。

また、この会議が終わった後に、先生たちで話し合いや振り返りを行う機会があるのでしょうか。それとも、児童・生徒を連れて帰るだけで、そのような機会はないのでしょうか。

最後に、大鳥中学校は、昨年度の課題を踏まえ、全体会からグループへの移動等の時間を短縮するため、開始時からグループに分かれて意見交流会を行っています。全体会から行った方が良かったのか、それとも最初からグループの方が良かったのか教えてください。

- 説明員            まず、第十一中学校区での地域の方の参加者が少なかったことについてですが、原因は分かっておりません。学校に確認しましたところ、例年どおりの案内をしていましたが、参加者が集まらなかったと伺っております。いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議は、子どもたちがいじめについて主体的に考えることを地域の方に知っていただく重要な機会として捉えておりますので、今後とも地域の方に積極的にご案内をするように促していきたいと考えてございます。

また、この会議の終了後に教員間の話し合いの機会などを設け

ているかについてですが、こちらにつきましては、会議の終わった後、各学校でそれぞれ反省会を行っています。私が参観したときは、この子ども会議の日に合わせて小・中連携の会を設けている校区がありました。そこでは、会議の様子について情報交換をした後に、今後の会議のあり方について検討したり、またそれぞれの児童・生徒の実態について情報交換をする場として活用されていました。このような方法はよいと思いましたので、今後、合同副校長会でも、めぐろ子ども会議について情報交換をする機会を設けていきたいと考えてございます。

また、最初からグループで行ったことについてですが、グループからのスタートによって移動時間がかからなかったため、子どもたちの話し合う時間が確保できたという成果がありました。私も東山中学校を参観しましたが、全体会が終わった後に移動すると、時間がかかることは認識していました。

ただ、東山中学校の工夫として、一番最初に全体でビデオを見て、全体で共通の理解や共通の課題を持ってから、分かれて話し合うという取組を行っていました。全体会から開始するか、グループから開始するかについては、一長一短がありますので、今後、よりよい方策について各中学校区で検討していきたいと思っております。

○委員 例年どおりの案内で、第十一中学校区の地域の方の参加者が2名ということですので、案内の方法を工夫しなければいけないと思います。そのことを事務局から学校へ伝えてください。

また、東山中学校のように、全体で情報を共有してから取り組むことは、それはそれでよいと思います。今後は学校間で振り返りの情報共有を行うことが大切だと思いますので、改善に向けて工夫していただきたいと思います。これらは要望です。

○委員 私は初めてこの会議を参観しましたが、よい会議だと思いました。学校全体でいじめについてどう取り組むのか検討しており、頑張っていると思いました。

ただ、多くの子どもたちは、日常の言動について指摘されても問題なく過ごしている一方、一部の子どもたちはその指摘が問題になり、いじめに発展するおそれがあります。これだけのいじめに対する取組を行っているにもかかわらず、そのような問題が生じる原因がわからなく、悩んでいます。

小学校や中学校では、様々な教育やめぐろ子ども会議などの取

組を行っても、少なからず問題が生じます。その問題にどのように対応するのが適切なのか、事務局としてどうお考えでしょうか。

○説明員

委員のご指摘の点は、難しい問題だと思っております。

私は、このような会議を通して、みんなでいじめについて話し合う機会を設けることが大事だと思います。ただ、それによっていじめがなくなるかについては、別の問題だと思います。

道徳の時間や学校生活の様々な機会に、相手を理解することや思いやることの大切さを教えていくことが必要だと思いますし、保護者にもそれを理解していただき、一緒に取り組んでいく必要があると感じてございます。

○委員

そのとおりだと思います。目黒区のいじめ対策の取組のレベルは、高いと思います。ただ、全体のレベルが高くなるほど、生じた問題が大きく見えてしまう状態だと思います。事務局には、そのような問題の解決に積極的に取り組んでいただきたいです。大変なことですが、よろしくお願いします。これは要望です。

○教育長

その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第5を議題とします。

(日程第5 令和元年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○説明員

(資料により説明)

○教育長

1週目と2週目に主題・題材を絞り込む協議を行います。その後、3週目に絞り込まれた主題・題材の文案を協議しまして、4週目にその文案を固めるスケジュールで行ってまいります。

小学校について題材3例、中学校について題材3例、そのほか小・中学校共通の題材4例が出ております。本日一定の絞り込みをしたいと思っておりますので、それぞれの委員の方から、ご意見等をいただきたいと思っております。

○委員

小学校と中学校でそれぞれ主題が分かれています。小学校では、「個性や能力を生かす」、「粘り強く取り組む」、「他者と協力する」、中学校では、「将来への道を切り拓く」、「自分なりに試行錯誤する」、「他者と協力し社会に貢献する」としているのですが、例えばラグビー・ワールドカップの題材例を見たときに、この主題が全て当てはまるのではないかと思います。どういう基準で分けられたのでしょうか。

私は、ラグビー・ワールドカップの題材がよいと思います。これから外国人を受け入れ、40年後に、日本に住む人の約10%が外国人で占められると予想されています。外国人が増えると差別などの大きな問題が生じるおそれがあるとする意見がある一方、そのような問題は生じないとする意見もあります。私はラグビー・ワールドカップを見て、後者の意見が正しいと思いました。外国人が多数いながらも、「ONE TEAM」として頑張っており、日本人全体がラグビー・ワールドカップを応援していく中で、差別などの意見はなかったように思います。その点で、ラグビー・ワールドカップは、大きなインパクトを日本に与えたのではないかと思います。

ですから、私は、小学校も中学校もこのラグビー・ワールドカップの題材でよいと思います。

○委員

様々な題材を用意していただいて、ありがとうございます。

ラグビー・ワールドカップは、大変盛り上がりました。私は、「ONE TEAM」という言葉の意味のうち、多様性の認容については小学生よりも、中学生の印象に残ると思いました。外国人が共にプレーしていること自体は、誰が見ても分かりますが、多様性の認容については、小学生にはまだ理解が難しいと思いました。

はやぶさ2が2023年ごろに帰ってくる予定ですので、帰ってくるときに、その話を思い出してほしいことから、小学校でははやぶさ2を題材に取り上げてほしいと思いました。目黒区の友好都市である角田市にもつながりがありますし、プロジェクトチームが試行錯誤したように、卒業生も粘り強く頑張っており、人生を切り拓いてほしいというメッセージがよいと思いました。

中学生はラグビー・ワールドカップもよいと思いますが、身近なリチウムイオン電池の開発によりノーベル化学賞を受賞した題材も、わかりやすいので、話を聞いてくれると思います。

2020年はオリンピック・パラリンピックイヤーですが、オリンピック・パラリンピックはまだやっていないので、これはやった後に題材として用いた方がよいと思います。

結論として、小学生ははやぶさ2がよいと思います。ラグビー・ワールドカップは中学生のほうがよいと思います。ノーベル化学賞に関しては、小学生でもよいかと思っています。

○委員

私は、小学校の卒業式も中学校の卒業式もどちらも見てきまし

たが、祝辞に対して卒業生の反応がいまひとつという印象を受けたことがあります。

理由としては、校長先生の素晴らしい挨拶の後に教育委員会の祝辞を読むので、卒業生の印象に残りづらいのではないかと思います。ですので、小学校でも中学校でも、卒業生の印象に残りやすい題材の選択が大切であり、誰もが知っている題材を選ぶのが良いと思います。

そこで、私は、小学校も中学校も、ラグビー・ワールドカップを題材にしたいと思います。「ONE TEAM」や選手のハードな練習については、テレビでもたくさん放映されていますので、生徒たちの印象に残っていると思います。ただ、選手たちの激しい練習については、部活との関係で生徒たちにどのような印象を与えるのか気になります。

外国人の多いチームが「ONE TEAM」としてあれだけの成果を上げたのは、素晴らしいことですし、いじめの問題を関連させて話を展開できれば、素晴らしい題材になると思います。

それから、第2候補の題材としては、吉野先生のノーベル化学賞がよいと思います。身近なスマートフォンなどでリチウムイオン電池が使われているので、多くの小学生が知っている題材だと思います。また、失敗を恐れずに前に進むということの大切さを伝えるには、吉野先生の言葉がよいと思いました。

結論として、私は、第1候補がラグビーのワールドカップで、第2候補が吉野先生のノーベル化学賞です。これは小学校、中学校両方とも同じ題材でもよいですし、別々でもよいです。

#### ○委員

聞いている生徒や保護者がわからない題材は、興味を引けないと思いますので、ニュース等で話題になったラグビー・ワールドカップや吉野先生のノーベル化学賞がよい題材だと思いました。また、はやぶさ2も教育という面でもふさわしい題材だと思います。

小学生はそのまま中学校に全員進学するので、例えばラグビー・ワールドカップの「ONE TEAM」の話が部活動に結びつくと思います。ただ、中学校を卒業される方の中には、社会に出る方もいらっしゃると思うので、そういう方には、ラグビー・ワールドカップよりも、ノーベル化学賞の題材で、社会でこれからこつこつ頑張って貢献してくださいという話も印象に残るのではないかと思います。高校に行かれる方だけでなく、これから社会

に出ていかれる方にも印象に残る話を検討すべきかと思ひます。

○教育長 題材としましては、小学校の題材で記載されている2ページのイの「はやぶさ2について」、ウの「ラグビー・ワールドカップ」、そして、中学校の題材で記載されている「ノーベル化学賞に至るまでの柔軟性と粘り強さ」の3点が上がりました。

6ページにも記載されていますように、昨年も、小学校・中学校ともに、協議の段階では小学校の題材として記載されておりました「ノーベル賞医学生理学賞に至るまでの試行錯誤」が、小学校・中学校共通の題材として決定しておりますので、この点を踏まえて次回また協議していただくことになると思ひます。

委員4人の意見を聞いて、事務局から何かありますか。

○説明員 先ほど、委員から主題についてご質問がございましたが、主題については、それぞれの題材に濃淡があります。題材によって主題が限定されることはありませんので、強く伝えたい主題を今後検討していただければと考へてございます。

○教育長 先ほど確認させていただいたとおり、候補の中から3つの題材に絞られましたので、どれを取り上げるか、また小学校、中学校への割り振りなどについて、次回、再度検討を行うこととします。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長 その他なにかございますか。  
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時57分閉会)